

# ICP, IUPsySとはなんでしょう？

ICP2016 組織委員会委員長 繁榊算男

ICP2016 とはなんでしょう？ 答えは2016年、オリンピックがリオデジャネイロで開かれる年に、日本の横浜で開かれる世界最大の心理学の国際大会です。International Congress of Psychology の略で、国際心理学会議と訳しています。もしICPについてご存じなければ、この国際大会の宣伝が不十分だからでしょう。このコラムは、ICPという機会を大いに活用してほしいというメッセージを込めた「宣伝」です。

ICPは4年に一回開かれ、2012年は南アフリカ共和国のケープタウンで第30回大会が開催されました。参加者は約5,600名、日本からも約150名の参加者がありました。ICP2016の関係者も、4年後に迫る大会運営のヒントを得ようと多数参加いたしました。

ケープタウン大会は、まずボランティアの学生たちの笑顔で歓迎されました。彼らは上手に英語をしゃべり、熱心に参加者の役に立とうとする気持ちがよくわかりました。大会プログラムの運営自体にはスムーズさに欠ける面もありましたが、大会を成功させようとする関係者の熱意は高く、イベントや議論で盛り上がりました。日本からは、ICP2016を紹介するためのブースを設け、この会議への参加を呼びかけました。また、調印式の後のパーティと、閉会式の後に横浜への最初のウェルカムパーティを開催しました。ICPの広報委員会や会場委員会の委員の方たちは、自分の発表以外はそのような活動に時間をとられた方も多く、感謝すると同時に申し訳なく感じました。

ところで、ICPについて知っている人でも、「IUPsySとはなんでしょう」ときかされると正確に答えられる方は少ないでしょう。これは、International Union of Psychological Sciencesの略ですが、今度のICP2016を日本心理学会と共催する組織です。IUPsySは、82カ国のそれぞれの主要な心理系の学会が加盟する団体です。学問としての心理学の発展のための組織であることはもちろんですが、世界のいたるところで、心理学が人々の役に立つためにどうすればよいかを考える場でもあります。ICPはIUPsySとの共催ですから、心理学の実践や社会とのかかわりについて議論になるような研究発表やシンポジウムが多く企画されることと思っています。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、ICPが日本で開かれるのは1972年の開催以来、

2回目です。また、アジアでは、2004年の北京大会に次いで3回目です。実は、韓国も2016年の開催に意欲を示しておりましたが、もう一つの開催希望地だったミラノとの競争を考えるとアジアから二つの立候補が出るのは不利であることを考慮し、立候補を取りやめていただいた経緯があります。次のアジアの開催は韓国が立候補する限り、日本はそれを応援する立場に回ります。いずれにしても、2016年以降日本でICPが開催される可能性はしばらくの間ないと予想されますので、この日本開催をぜひとも意義あるものにしたいものです。

それでは、費用も手数もかかる大きな国際会議を2016年に関く意義はどこにあるのでしょうか。1972年にアジア最初のICPを東京で開いたときには、日本の心理学の存在を世界に知らせるというわかりやすい目的がありました。当時、このICPの開催には賛否両論あり、時期尚早であるという意見も多かったようですが、それ以来、心理学研究者の国際化は進み、振り返ってみれば、この開催は意義があったとみなす人が多いでしょう。それでは、2016年はどうでしょうか？ 今回は時期尚早説の代わりに、専門分野の国際学会があまたある中で今更開催する意義があるのかという不要説があるようです。

しかし、日本は次回の横浜大会ではホストの役目ですので、日本が発信する独自のアイデアを世界に問うチャンスであるかと思います。政治の世界でも、たとえばG8などの国際会議では、日本で開催するときのほうが日本の発信力が強くなるように感じます。これからICP開催までの3年半は、一つの研究を完成させるには適当な時間間隔です。若い人だけではなく、やり残したことがあるのではないかとお考えの中高年の研究者の方も、ぜひ創造的な研究をまとめる機会として利用してください。お願いしたいことは、われわれがホストであるICP2016では、おもてなしの精神を発揮して外国の方を歓待してほしいということです。横浜での学会をきっかけとして、生涯続く研究の仲間ができるかもしれません。1972年のICPによって、世界の心理学界に日本の心理学が市民権を得たとすると、2016年のICPは、日本の心理学研究のコミュニティが世界的に重要な拠点になっていることを世界に知らしめる機会にしたいものです。